

2024年（令和6年）4月～

令和5年9月1日

「生まれ変わる 山梨大学工学部」

新たな社会に貢献できる工学系人材を育成

- ⇒ 「SDGs」  : 持続可能な社会
カーボンニュートラルのためのエネルギー問題への取り組みなど
- 「地方創生」 : 地方のポテンシャルを引き出し継続的な営みができる社会
- 「Society5.0」 : IoTやビッグデータ、人工知能等の技術革新による新たな社会

新体制

- 
- 7学科を1学科複数コースに再編
 - ・分野間の垣根を低くし、**進路選択が柔軟**となるよう変更
 - ・新コースの設置により進路選択の幅が拡大
 - ・**情報分野（コンピュータ理工学コース）の募集人員を大幅増**
 - クリーンエネルギー化学コースを新設
 - ・化学の力で**エネルギー問題を解決できる人材**を育成
 - ・山梨大学が有するクリーンエネルギー分野における国内有数の研究実績（燃料電池やエネルギー変換など）を活用し、新たなコースを設置
 - 総合工学クラスを新設
 - ・入学後に進む分野を決定したい、進みたい分野があるが入学後に適性を見極めたい、幅広い工学の知識や技術を学んでから専門の分野に進みたい、というニーズに対応したクラスを設置（出願時に「**総合工学枠**」を選択）
 - ・総合工学クラス出身者を中心に全ての工学部生が履修可能な「**工学の社会実践教育プログラム**」を実施

新入試



- 一括入試の導入による募集人員の弾力化
 - ・成績上位者からコース希望を勘案して合格者を決定
 - ・総定員（365人）の枠内で各コースの募集人員をニーズ等を踏まえて弾力的に設定
- 学校推薦型選抜Ⅰや女子枠の導入
 - ・調査書・小論文・面接等で総合評価（**共通テスト不要**）
 - ・**女子枠と一般枠の併願が可能**
- 大学入学共通テストで「生物」が選択可能
 - ・総合型選抜Ⅱ、一般選抜（前期・後期）において、全てのコース等で「**生物**」が選択可能に

新教育



- 工学基礎教育・デジタル教育の強化
 - ・コース・学部の枠を超えた、幅広い専門性を有する教員による授業を実施
 - ・数理・DS・AI科目やPBL科目等の充実化
- 1年次はクラスに所属、2年次から専門分野ごとのコースに所属
 - ・年次が進むにつれて専門を細分化
- 転コース制度等による進路選択の柔軟化
 - ・2年次のコース配属時に条件を満たせば**他コースへの変更が可能**、3年次進級時にも転コースが可能
- 特別教育プログラム（特P）の実施
 - ・希望者は3年次進級時に専門性の高い特Pを履修可能（**大学院修士課程までの一貫教育**）

○ 新たな体制の概要(7学科→1学科)

現・工学部

工学部(7学科) [365]

機械工学科 [55]

メカトロニクス工学科 [55]

電気電子工学科 [55]

コンピュータ理工学科 [55]

土木環境工学科 [55]

応用化学科 [55]

先端材料理工学科 [35]

[]は入学定員
[]は募集人員(目安)

新・工学部

工学部(1学科) [365]

1年次

化学系クラス
[66]

土木環境系クラス
[46]

総合工学クラス
[40]

情報系クラス
[75]

機械電気系クラス
[138]

2年次~

クリーンエネルギー化学コース [38]

応用化学コース [38]

土木環境工学コース [50]

コンピュータ理工学コース [90]

機械工学コース [53]

メカトロニクスコース [48]

電気電子工学コース [48]

Point
本学の強み、
GX・脱炭素推進

Point
多様な進学ニーズに対応
主に総合工学クラス出身者が履修可能なプログラム「工学の社会実践教育プログラム」を実施

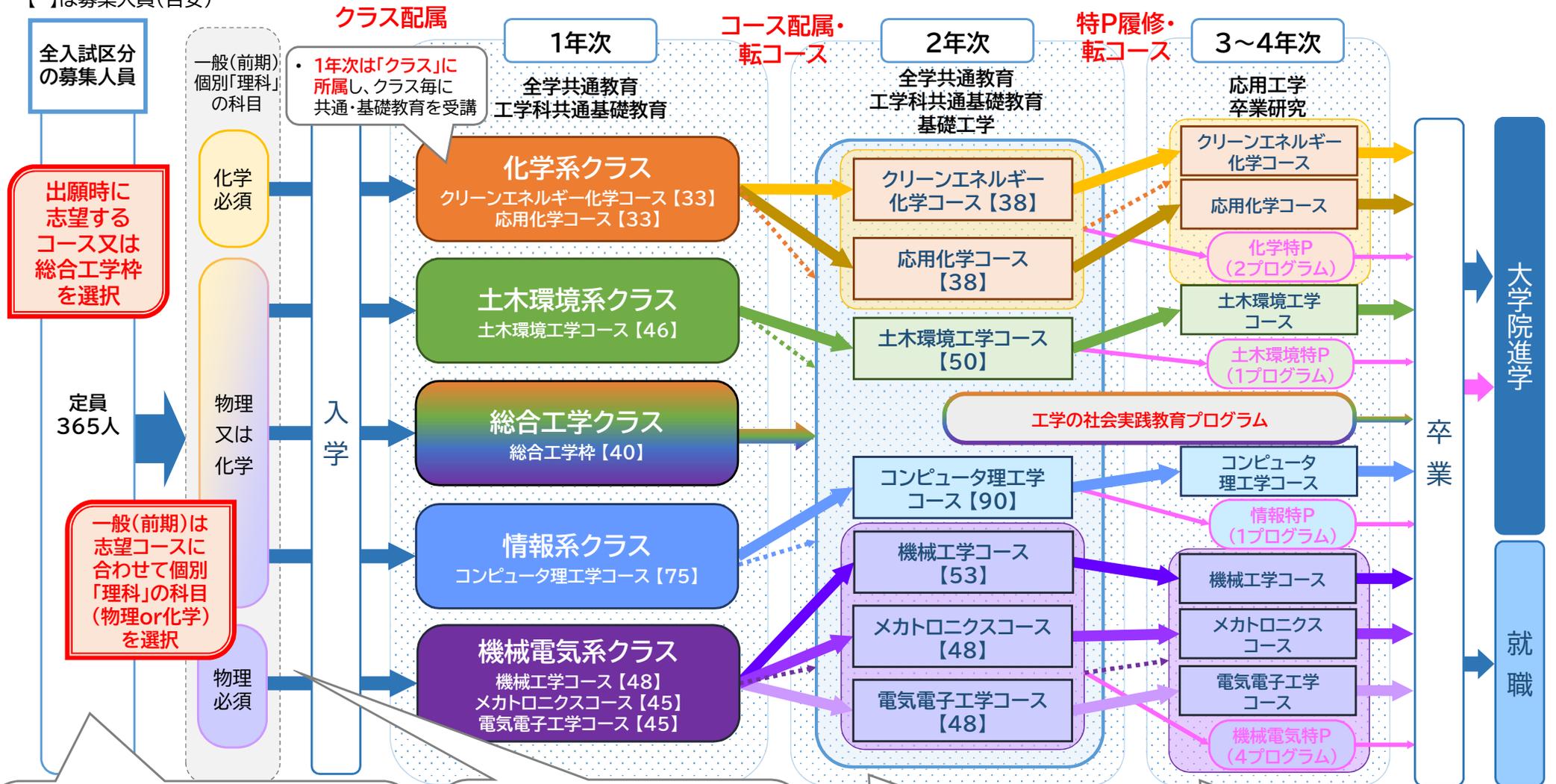
Point
デジタル人材育成機能の強化
2年次以降の募集人員を現学科から大幅に増員

「クラス」で基礎を学び、「コース」で専門を学ぶ
年次が進むにつれて専門を細分化

募集人員(目安)は、ニーズや実績、受入環境(施設・設備等)を勘案し設定

○ 新・工学部 学生の所属先をベースとした流れ

【 】は募集人員(目安)



- 実施する選抜区分
 - 特別選抜(総合型Ⅰ、総合型Ⅱ、**学校推薦型Ⅰ(新規)**)
 - 一般選抜(前期・後期)
 - 私費外国人留学生入試
- 選抜区分毎の募集コース等
 - 特別選抜・私費外国人留学生入試:
総合工学校を除く各コース(1コースのみ出願可)
 - 一般選抜(前期): 各コース・総合工学校
(複数コース等に出願可)
 - 一般選抜(後期): 総合工学校のみ

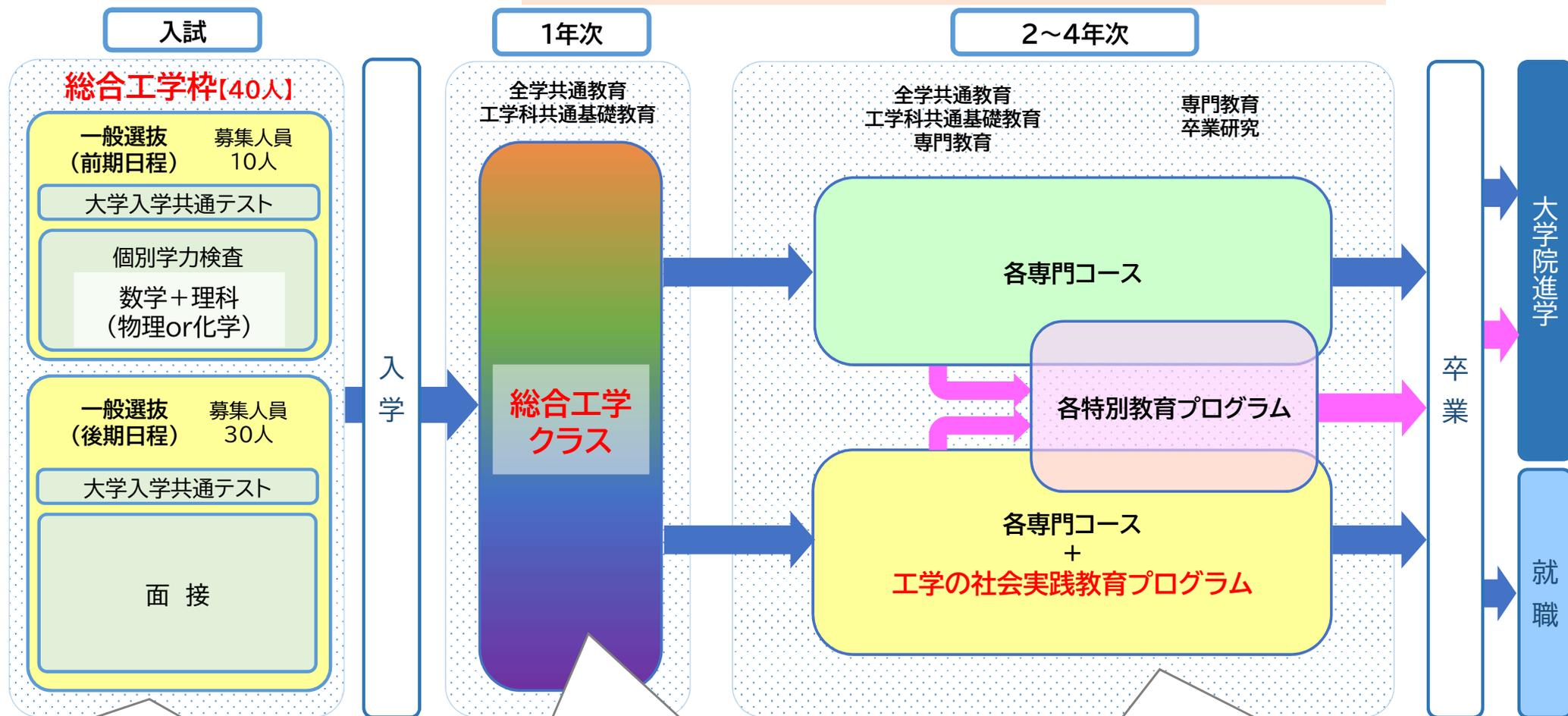
- 大学入学共通テスト「理科」について
 - 志望するコース・総合工学校(以下「コース等」)にかかわらず、**新たに「生物」が選択可能**
- 一般選抜(前期)について
 - コース等に志望順位を付して出願(第3志望まで記入可能)
 - 志望するコース等に応じ、**個別学力検査「理科」の科目(物理or化学)を選択**
 - 総得点の高い者から順に、志望順位に基づき合格コース等を決定(コース等別に合格発表)

- 2年次進級時にコース配属。所属コースが正式決定(原則として、入試での合格コースに所属)
- 条件を満たせば、合格コース以外への配属も可能(転コース)
- 総合工学クラスの学生は、希望等を考慮し、いずれかのコースへ配属
- 特定のコースへの配属希望が多い場合は、成績等により決定

- 条件を満たせば、3年次進級時にも転コースが可能
- 希望者は、**特別教育プログラム**(以下「特P」)を履修可能(成績等をもとに選抜)
- 特Pは全部で9プログラム。**大学院修士課程までの一貫教育**を実施し、修士課程科目の先取り履修や研究への参画も可能。また、博士課程への進学も視野
- 工学の社会実践教育プログラム**は、2年次以降に開始

○ 総合工学クラスについて

以下のような受験生に適したクラスです。
志望する方は、出願時に「総合工学枠」を選択してください(一般選抜のみの募集です)。
① 複数の専門分野に興味があり、学ぶ中でじっくりと適性や進路を見極めたい受験生
② 工学全般に興味があり、入学後に専門分野を決めたい受験生
③ より多くの基礎科目をしっかりと学んだうえで、専門分野に進みたい受験生



- 一般選抜のみで募集
- 前期では出願時に第1志望のみならず、第2・第3希望としても総合工学枠を記入可能
- 大学入学共通テストに加え、前期は個別学力検査、後期は面接を実施
- 前期の個別学力検査「理科」では、物理又は化学のいずれかを選択

- 1年次は総合工学クラスに所属
- 1年次に、複数分野の科目履修やコーディネーターとの相談等を通じ、じっくりと適性や専門を見極め、2年次以降のコースに円滑に合流できるシステム
- 例えば、入試で化学を選択していない場合でも、化学系カリキュラムを履修することにより、2年次に化学系のコース(クリーンエネルギー化学、応用化学)を選択可能。物理も同様

- 2年次以降は各専門コースに所属
- 専門コースに所属しつつ、主に総合工学クラス出身者が履修可能な「工学の社会実践教育プログラム」を設定
- 同プログラムでは、社会の様々な課題を解決し生活をより良くするためにどのように専門を役立てるか(「工学の社会実践」)などについて学ぶ(修了者には修了証を授与)
- 自身の興味・関心等を更に深めるため、同プログラムを履修しつつ、他の特別教育プログラムも履修可能

○ 取得可能な資格

■ 資格

資格の種類	取得可能なコース
<ul style="list-style-type: none"> 衛生工学衛生管理者 作業環境測定士(第一種・第二種) ガス溶接作業主任者 廃棄物処理施設技術管理者 冷凍空調技士(第一種) ◆ 	<ul style="list-style-type: none"> 全コース
<ul style="list-style-type: none"> 毒物劇物取扱責任者 	<ul style="list-style-type: none"> クリーンエネルギー化学コース 応用化学コース
<ul style="list-style-type: none"> 危険物取扱責任者 	<ul style="list-style-type: none"> 応用化学コース
<ul style="list-style-type: none"> 技術士・技術士補 測量士・測量士補 土木施工管理技士(1級・2級) ビオトープ計画管理士(2級) ◆ ビオトープ施工管理士(2級) ◆ 	<ul style="list-style-type: none"> 土木環境工学コース

※ ◆は民間資格、無印は国家資格

資格の種類	取得可能なコース
<ul style="list-style-type: none"> 建設機械施工技士(1級・2級) 建築施工管理技士(1級・2級) 電気工事施工管理技士(1級・2級) 管工事施工管理技士(1級・2級) 	<ul style="list-style-type: none"> 土木環境工学コース 機械工学コース 電気電子工学コース
<ul style="list-style-type: none"> ボイラー・タービン主任技術者(第一種・第二種) 	<ul style="list-style-type: none"> 機械工学コース
<ul style="list-style-type: none"> 陸上特殊無線技士(第一級・第二級) 電気主任技術者 電気工事士(第二種) 	<ul style="list-style-type: none"> 電気電子工学コース



■ 教員免許状

免許状の種類	取得可能なコース
<ul style="list-style-type: none"> 高等学校教諭(工業)一種免許状 	<ul style="list-style-type: none"> 全コース
<ul style="list-style-type: none"> 高等学校教諭(理科)一種免許状 	<ul style="list-style-type: none"> クリーンエネルギー化学コース 応用化学コース

